



つのちよう

第47号

# 議会だより



葉山中学校体育祭（GO！GO！あおむし）

## 9月定例会

平成28年11月1日発行

### 主な紙面

平成28年度一般会計補正予算……………2P

平成27年度各会計決算を認定……………6P～7P

町政を問う（6人が一般質問）……………8P～19P

発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
発行責任者 議長 大崎公孝  
印刷 刷 笹岡印刷所

# 一般会計補正予算

9月定例会

情報セキュリティ  
強化事業等

# 2億2,100万円を増額

## 総額63億7,900万円

9月定例会は、8日から16日までの9日間開かれ、健全化判断比率や専決処分の報告が3件、平成28年度の一般会計補正予算をはじめ議案5件、平成27年度各会計決算6件を認定した。

一般質問には6人が立ち、3期目への決意・志国高知幕末維新博・学力向上対策・伊方原発再稼働・総合センター・体育館活用の取組み等について執行部をたざした。

### 28年度補正予算

#### 一般会計補正予算(第2号)

がけくずれ住家防災対策事業2千万円、ふるさと納税事業1千258万1千円、木質資源利用促進事業3千592万7千円、情報セキュリティ強化事業7千732万3千円、幕末維新博に向け、歴史博覧会及び歴史観光資源等強化事業2千258万2千円等を増額し、歳入歳出の総額を63億7千900万円とする。可決(全員一致)

#### 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

事業勘定201万4千円、直営診療施設勘定58万5千円増額し、歳入歳出の総額を、事業勘定9億5千174万8千円、直営診療施設勘定1億5千624万3千円とする。可決(全員一致)

#### 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成27年度の介護給付費確定に伴い933万3千円を増額し、歳入歳出の総額を7億7千376万6千円とする。可決(全員一致)

### その他の議案

#### 高知県市町村総合事務組合規約の変更

地方自治法第286条第2項の規定により、新庁舎移転に伴い、平成28年10月1日から、高知県市町村総合事務組合規約を変更する

もの。可決(全員一致)

#### 平成28年度第2・1号町道芳生野奈路線橋梁下部工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 5千583万4千920円  
請負者 (有)谷脇工業  
可決(全員一致)

### 専決処分の報告

平成28年7月12日12時20分頃、津野町役場本庁舎前において、公用車を右折させようとしたところ、東方面から直進してきた相手方所有の車両に衝突し損傷させた物損事故について、和解及び損害賠償額を決定したものの。



高知県総合事務組合の新庁舎

## 陳情の審査

▼「給食費の無償化」を求める陳情

(決定) 不採択  
(理由)

学校給食法第2条の学校給食を実施するにあたっての目標の一つには、「食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと」とある。国ではなく、保護者が給食費を支払うという前提もまた、勤労を重んずる態度を養う大きな教材の一つであると考えるところから不採択とした。



## 臨時議会

平成28年7月28日第3回臨時議会

▼津野山広域事務組合の共同処理する事務の変更及び津野山広域事務組合規約の変更

地方自治法第286条第1項の規定により、津野山広域事務組合の共同処理する事務のうち、四国カルスト放牧場設置及び維持管理並びに運営に関する事務を廃止し、これに伴い津野山広域事務組合規約を変更するもの。可決(全員一致)

▼津野山広域事務組合の共同処理する事務の変更及び津野山広域事務組合規約の変更に伴う財産処分

地方自治法第289条の規定により、津野山広域事務組合の共同処理する事務の変更及び津野山広域事務組合規約の変更に伴う財産を処

分するもの。

可決(全員一致)



9月定例会 西庁舎議場

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。 3月・12月(本庁舎議場)

6月・9月(西庁舎議場)

次回の一般質問は12月10日(土)の開催を予定しています。  
たくさんの傍聴をお待ちしています。

# 町長 行政報告



池田町長

今夏は全国各地に台風が上陸し甚大な被害に見舞われた。本町でも防災対策の一環として9月4日に津野町防災訓練を行う予定だったが、悪天候のために中止した。

今後も各種訓練を実施し、各地区での自主防災組織の育成に取り組み災害に備える。

## 財政健全化の状況

判断指数の実質公債比率はマイナス4.2%と昨年度に続き健全な財政状況。

災害時における無人航空機による情報収集等に関する協定書の調印

8月2日に葉山土木コンサルとの間で「災害時における無人航空機による情報収集に関する協定」を締結した。

## 熊本地震への義援金

今年4月の熊本地震に対し義援金を募り117万1千355円のご協力をいただき日赤高知県支部に届けた。

## 地区座談会

本年も町内10カ所で開催し延べ160名の出席。座談会

でいただいた意見等は今後の町政に活かしていきたい。

## 東京農大との包括連携協定の締結

東京農大と「人づくりや地域産業の進行為目的とした包括連携協定」の提携を行った。

## まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況

27年度は国の「地方創生先行型交付金」を活用し観光宣伝等による津野町の認知度向上に取り組んだ。

28年度は国の地方創生拠点整備交付金が創設された

ので、本町に波及効果の高い事業の企画立案に取り組む。

## 奥四万十博

夏場は天候に恵まれたが期待したほどの効果に至らなかった。後半は広報宣伝を強化し誘客増を図る。

## 志国高知幕末維新博

来年3月から再来年12月までの1年10カ月、県内20カ所のサテライト会場で開催される。

本町の歴史資源を活かす多くの誘客と観光振興を図る。

## 夏まつり

4年ぶりに東地区での開催。7月に完成した総合センター館内を主会場として行い町内外から約2千人が参加し盛大に開催された。

## 学力向上対策

今年度で問題解決型の授業づくりの取り組みは4年目となる。児童生徒の「学習に臨む姿勢」の向上や教員の授業改善に対する意識の向上が図られている。

## 児童生徒の研修

海外研修事業でオーストラリアに7月24日から3週間、葉山中・東津野中の3年生が各1名参加し異文化・語学の研修・体験を行った。

隔年実施の東吉野小学校と本町の中央小学校6年生の交流学习は今年本町で7月に実施された。

また、訓子府小学校との交換留学は今年8月、本町に児童4名を受け入れホームステイを行いながら交流が深められた。

## 葉山運動公園総合センター

7月31日に盛大に落成行事を行い、8月から各スポーツクラブ・団体の利用を開始。町内外の方々に健康づくり・体力づくり・文化・スポーツ活動等幅広く利用いただくために関係機関と連携し、積極的にPRし地域経済の発展に繋げていきたい。



無人航空機（ドローン）の飛行見学

# 委員会報告

産業建設委員会は、8月24日町内農家視察訪問を実施した。

視察には、大崎議長、池田町長他関係職員、岡崎公秀須崎農業改良普及課長、倉橋ふるさとセンター社長、土佐くろしお・津野山、両JA担当職員の同行を頂いた。

今回の調査は産業祭において、例年、秋野菜のみの中から表彰者が選任されている矛盾解消も含めた視察とした。関係者の総合的判断のもと、本年度は12戸が選抜され、その中には、母が培ってきた生産技術を学び、自ら意欲的に取り組む後継者や、若い社長が共同出資のうえ会社を立ち上げ、有機農法を取り入れた「こだわり野菜」の生産に意欲的に取り組んでいる満天畑、初期投資の返済をしながらハウス経営をしている元協力隊の若い経営者等、将来を期待される方々も多くいることに感銘を受けた。一方、ふるさとセンターのみに出品されている方は高齢者が多く、今後

のセンター運営の厳しさが予想されるため、行政と一緒に抜本的な対策が必要と考える。また、高度な栽培技術や栽培方法で生産拡大を図られている方々など、連日厳しい暑さの中、圃場及び生産物の品質管理がなされていた。今後において更なる系統出荷販売体制強化を図り、JAとふるさとセンターを核に消費者ニーズを探り、アンテナショップ他、各直販所への生産物の供給量を増やし、所得向上はもとより生きがいとやりがい、更に健康増進に繋がるよう激励した。



視察風景

# 議会のうづき

## 8月

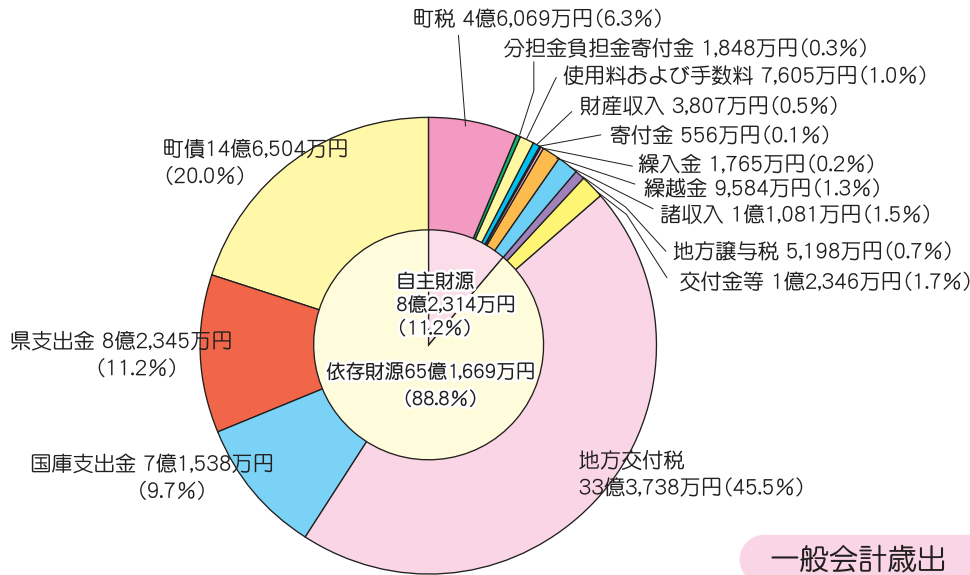
- 6 葉山センダン杯小学生野球大会
- 9 高幡東部清掃組合監査 (中土佐町・組合議員)
- 10 高幡町村議会議長会議 研修会 (大月町・議員)
- 15 津野町夏まつり (葉山運動公園)
- 21 高幡消防組合総合演習 (B&G・議長)
- 24 産業建設常任委員会 (農家視察・委員)
- 31 全員協議会 (西庁・議員)
- 9月
- 4 全四国オープントーナメント葉山清流杯修道館空手道選手権大会 (総合センター)
- 5 議会運営委員会 (西庁・委員)
- 8 第4回津野町議会定例会 開会 (西庁・議員)
- 9 休会 (14日)
- 11 葉山中学校・東津野中学校体育祭
- 13 平成27年度決算連合審査会 (西庁・議員)
- 15 葉山中学校・東津野中学校 校体育祭
- 16 一般質問・議案審議、閉会 (西庁・議員)
- 17 総務・産業建設常任委員会合同視察研修 (福島県・宮城県) (19日)
- 20 津野町歴史講演会(里楽)
- 21 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 22 高知県自治会館新庁舎落成式典 (高知市・議長)
- 26 全員協議会 (本庁・議員)
- 27 トップセミナー (高知市・議長外)
- 28 高幡東部清掃組合議会定例会 (中土佐町・組合議員)
- 29 四国四県町村長・議長大会 (愛媛県・議長)
- 1 11にじいろ園運動会
- 6 産業祭実行委員会 (商工会本所・委員)
- 7 高幡町村議会議長会議臨時総会 (越知町・議長)
- 9 津野町民運動会 (葉山運動公園)
- 12 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)

# 平成27年度一般会計・各特別会計決算を認定

一般  
会計

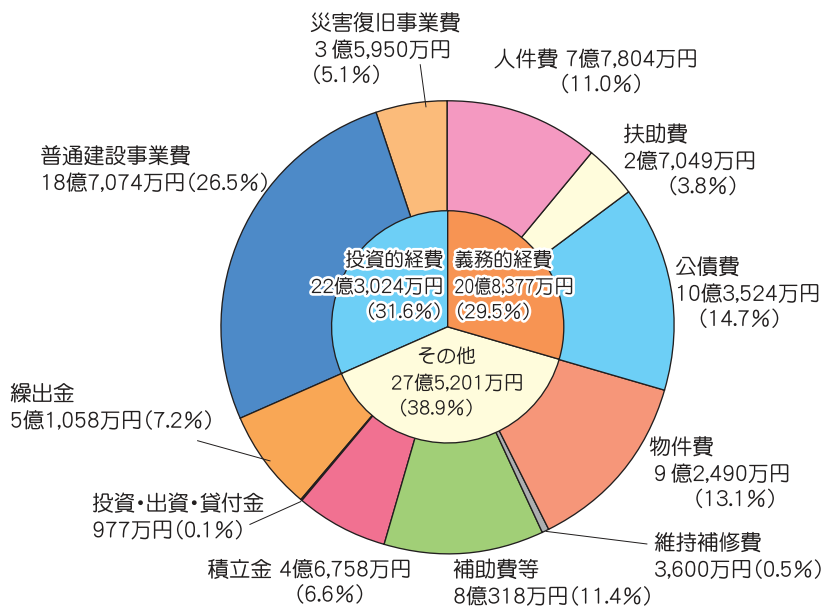
町債（借金）現在高72億2,771万円（対前年4億8,015万円増）  
基金（貯金）現在高79億6,375万円（対前年8億1,181万円増）

一般会計歳入 73億3,983万円



平成28年9月定例会で、総務常任委員会に付託された平成27年度一般会計・各特別会計の歳入歳出決算は全会一致で認定された。

一般会計歳出 70億6,602万円



①歳入歳出の状況  
平成27年度一般会計歳入73億3,983万円、歳出70億6,602万円、歳差引額は2億7,381万円です。前年比4.5%減の歳入と前年比5.0%減の歳出となっており、この内2億8,182万円を基金積立して、歳入歳出とも前年度より減少している。

一般会計

## 会計別の決算額

単位：万円（端数切捨て）

合計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	73億3,983	70億6,602	2億7,381	
特別会計	国民健康保険事業勘定	9億6,302	9億6,202	100
	直営診療施設勘定	1億4,928	1億4,269	659
	介護保険事業	7億4,216	7億2,321	1,895
	簡易水道事業	2億2,122	2億2,122	0
	生活環境施設整備	7,824	7,726	98
	後期高齢者医療	8,584	8,521	63
	合計	95億7,959	92億7,763	3億196

② 財産の管理について

土地建物等の維持管理について監査委員から指摘があつている。

③ 債権の状況

学資貸付金は平成27年度貸付金858万円、返済額は646万5千円で決算年度末現在高は5千273万5千円である。貸付金は100%徴収されている。

④ 基金の状況

基金（基準日平成28年3月31日）は8億3千293万7千円積立し、2千112万7千円取崩し、決算年度末の残高は79億6千375万8千円で平成26年度末に比べ8億1千181万7千円増加している。

⑤ 地方債の状況

平成27年度発行額は、14億6千503万5千円で償還金は9億8千487万9千円（繰上償還含む）である。決算年度末残高は、72億2千771万1千円で平成26年度末に比べ4億8千15万6千円増加している。

る。

⑥ 収入未済額の状況

収入未済額は、町税2千375万7千416円、養護老人ホーム入所負担金76万8千100円、保育料・幼稚園授業料等5万5千110円、教員住宅使用料11万2千500円、学校給食費48万1千510円の合計2千517万4千636円で平成26年度末より229万5千939円減少している。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

平成27年度未加入世帯数は1千17世帯で総世帯数に占める割合は37.6%となつている。被保険者数は1千611人で総人口に占める割合は26.3%である。医療費一人当たりの平均額は35万4千845円で増加傾向にある。国保税に対する徴収率は92.48%でその内訳は現年課税分95.27%、滞納繰越分60.84%となつている。

直営診療施設勘定特別会計

受診者数は姫野々診療所で延べ1万2千967人、杉ノ川診療所で延べ7千138人、合計延べ2万105人と昨年度より少し増加している。

簡易水道事業特別会計

使用料について50万1千560円の未収金がある。

生活環境施設整備特別会計

本年度の浄化槽設置基数は26基で減少傾向にある。使用料で32万8千840円の未収金がある。

介護保険事業特別会計

保険料について270万6千210円の未収金がある。

後期高齢者医療特別会計

歳出の主な内訳は、総務費40万47円、後期高齢者医療広域連合納付金8千458円である。

財政健全化判断比率  
基準値を下回り「健全」

平成27年度決算における財政健全化判断及び公営企業の経営健全化判断は、いずれも国の定めた健全化基準を大きく下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

財政健全化判断

指標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	△4.2%	25.0%
将来負担比率	負担なし	350.0%

経営健全化判断

会計名	資金不足率	健全化基準
簡易水道事業	不足なし	20.0%
生活環境施設整備	不足なし	20.0%

- 標準財政規模  
補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。27年度は38億5千42万9千円。
- 実質赤字比率  
普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合
- 連結実質赤字比率  
町の全ての会計の標準財政規模に対する赤字の割合
- 実質公債費比率  
町の標準財政規模に占める借金返済額の割合
- 将来負担比率  
町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率

## 問 町長選挙の出馬は

## 答 町政のかじ取り役を



大崎 芳章

## 一般質問

大崎

5つの政策項目は、元氣な集落づくり・住んでみたいまちづくり・健康で安心の福祉のまちづくり・活力ある産業づくり・心豊かなまちづくりである。2期8年の自己評価と来年2月の町長選挙への出馬は。

池田町長

町民と対話を重ね、町民も参画し、町民に見える町政を政治理念としてきた。一期目は産業再生・安全と安心の快適な生活・未来を築く子どもたちをテーマとし、二期目は教育・若者定住・林業振興をテーマとして取り組んできた。評価については町民に委ねなければならぬが、地域づくりや情報発信で津野町の認知度も上がり始め、交流人口の拡大に繋がっている。

飛躍に向かって着実に昇り始めていると思う。昨年、町政10周年を迎え第2期まちづくり計画を公表。来年には人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生総合戦略を作成した。まちを元気にすることが私の責務だと考え、引き続き町政のかじ取り役を担っていききたい。

## 問 スクールバスの利用拡大を

## 答 保護者との協議を

大崎

北川地区も以前と違い集団登校の子どもの数が少なくなり、交通量も増えて危険になるなど通学の形態も随分変わってきた。今、運転手やバスを増やせとか進路変更をしてほしいと言っている訳ではない。空席が多くなったスクールバスに児童を乗せてはどうか。

川上教育長

合併以前から統廃合という問題があり、地域住民と行政間でバスを運行してきた。子どもの体力の発達を考えたとき、バス通学が適当であるかどうかを考える。また、北川地区だけの問題ではない。まわり道や信号機の設置、見守り体制等で検討・協議をしていきたい。



スクールバス



## 問 ふるさと納税の活用を

## 答 返礼品増で納税額が増



返礼品の一例

池田町長

地域の特産品が非常に効果的で、どんどん並べることとで納税も増える。津野町産の食材を使った加工品の開発も推進しているが伸びていない。

津野茶関連商品は16品あり、四万十源流茶としてのネーミングで販売拡大をすすめる。JA津野山等に支援をしながら、お茶生産農家に伝え特産品づくりに取り組んでいく。

## 問 奥四万十博の費用対効果は

## 答 まだまだ満足していない

大崎

町民の参加意識が薄いと思われる前半の評価・反省と費用対効果はどうか。

来年3月から開催される幕末維新博に向けて、後半の取り組みは。

のぼり旗のさまざまな管理は。

池田町長

体験イベント・おもてなし・宣伝効果と取りくんで、入込客数・宿泊者数・体験参加者数ともに増加はしているが満足はいく結果になっていない。議論・検証をして次に繋げていく。



うなだれたのぼり旗

後半は秋冬場で厳しいが、新たな体験メニューを掘り起こし磨き上げる。

戸田産業課長

9つの体験メニューでは、予想以上の参加・反響があったものもある。入込客数17%、宿泊客数10%増で目標に届いていない部分もある。ホームページ等のアクセス数は22%増であり、一定の評価はできるが満足はいく結果ではない。のぼり旗は早急に現地確認をして適正な対応をとりたい。

**問** 学力向上対策その成果は

**答** 課題、問題点は見えてきた



中越 一俊

一般質問

中越

学力向上対策室を設置し、人材・財源を投入してきた。課題発見や効果は見えたのか。

池田町長

学校教育・幼児教育に、何が問題で何が壁になっているか調査研究してきた。短期間では成果として見えていないが、さらにグレードを上げ成果に導くよう、現場と一緒にしつかりと議論を踏まえ強力に推進していきたい。

川上教育長

学力対策室設置以降、授業スタイルが概ね、各学校・学級に統一感がみられるようになった。

基礎学力定着に関しては、

6年・中1・2で取り組んできたことが調査結果に出てきているわけで、基礎学力が定着しなければならぬ時期の家庭環境と、基本的な生活習慣を含め、問題・課題があると捉えている。また、教職員それぞれの意識の共有を浸透させなければならぬ。

**問** 4年間の総括と検証は

**答** 教育会議の中で検証していく



音楽発表会

中越

問題点や課題の総括・検証をすべきではないか。

池田町長

津野町を背負う子供たちを育てる事の重要性は、誰がトップに座っても訴えていかなくはならない。教育会議の中で、しっかりと意見交換し検証していく。

**問** 伊方原発再稼働の対応は

**答** 徹底した説明責任を  
求めていく

中越

トップとしての考えは。今でも「再稼働やむなし」の考えに変わりはないか。

池田町長

福島事故は忘れることのできない、忘れてはならない事故であり、原発への依存度を徐々に下げっていくことは絶対必要だ。今後においても国・四国電力には徹底した説明責任を果たすことを求めていく。「再稼働やむなし」の考えは変わらない。

**問** 歴史や伝統文化に  
目を向けるべきだ

**答** 行政として促していく

中越

若い職員の歴史認識が薄い。歴史・伝統文化の継承が危機に陥る可能性がある、危機意識はあるのか。

川上教育長

公務員であれば地域の伝統を守り、歴史遺産や文化遺産を継承していく。職責として当然だと思う。次年度には、幕末維新博が開催されるため、地域の歴史・文化遺産に理解を示すよう行政として促していく。



秋のお祭り風景

その他の質問

Q バイオマスエネルギーの進展は。

A 引き続き調査する。

Q 古式神楽に行政が積極的に関与すべきだ。

A 今後は可能な限り同行する。

## 問 焼き物工房に課題が山積する

## 答 陶芸クラブとの協議を行う



田中一孝

### 一般質問

田中 奥四万十博の体験メニューに参加が多いなかで課題があると聞く。その状況を執行部は認識しているか。

池田町長 陶芸体験希望者が多く、陶芸クラブの皆さんに苦勞をかけている。

戸田産業課長 申込者が急増して対応に追われている点など、行政と陶芸クラブとのコミュニケーション不足であった。後半に向けて協議を重ねたい。



焼き物工房

田中 施設ができて30年経過して修繕箇所が多く宿泊も出来ないと聞くが。

池田町長 施設は平成14年の高知国体に合わせ改修をした経過がある。全体的な改修について課題が残っている。今後この施設の活用方法を議論し検討していく。

## 問 津野茶の現状は

## 答 茶工場整備で一定の効果

池田町長 本町の特産品であるお茶は、近年生産者が大きく減少。価格の下落、高齢化等が起因である。

田中 今回、両生産組合、そして両JAが合意して茶工場の整備となった結果、一定の効果が見えた。今後も両JAと生産組合と議論を行い支援していく。

戸田産業課長 津野茶の販売戦略については、平成27年度で一期目が終わった。平成28年度以降の販売戦略は現在作成している。

戸田産業課長 承葉塾は昭和62年に建築された。老朽化に伴う修繕も必要で今後、状況に応じて対応していく。ボイラーについては予算要望している。

## 問 承葉塾の施設が老朽化しているが

## 答 活用法を議論し改修の検討

田中

戸田産業課長

田中

葉山の茶工場が稼働停止し、生産者が減少するなどの問題がありはしないか。また生産者・JA・行政が連携しての取組みが必要ではないか。



片岡邸

問

片岡邸を改修し幕末維新博のサテライトに

答

来年度に整備の方向

田中

片岡直温・直輝の父・孫五郎は勤皇志士に多大な支援をした人物だ。津野山郷のアジトの場所であった片岡邸を整備するよう県に予算要求を。

川上教育長

サテライトは虎太郎邸になる。葉山地区は片岡邸と資料館をサブ的施設に。また片岡邸は維新博に伴い県の事業を活用して来年度整備に向け実施設計業務委託予算を計上していく。



虎太郎邸

その他の質問

Q 四万十川源流点には駐車場がない。整備すべきではないか。

A 人工的な物は最小限にすべきと判断し整備は考えていない。

Q 本町は多くの志士を輩出し活躍した。歴史上の流れを整備していく必要があるか。

A 志士の相関図等パネル形式で展示を計画。

Q 維新博に向けて資料館の整備を。

A 県の2年間の補助事業を導入し実施していきたい。

## 問 葉山運動公園総合センターの 利用形態は妥当か

## 答 利用状況により検討

西元 他市の市町に比べスポーツ愛好者にとつての支援が厚い津野町だが、新総合センター以前からの利用規定等で将来的な心配はないか。体育協会加入団体以外にも含め、総合的な利用促進に向け企画運営する組織への管理委託は考えていないか。

川上教育長 まだ見直しの段階ではないと考える。管理委託は適任の団体が現れるまでの当面は直営で行う。

生涯学習課長 整備後、電気料削減等の効果もある。今後の利用状況も見て考える。



体育館



総合センター受付

## 一般質問

西元

公共施設のいくつかは管理を委託している。町の関係団体等の利用には減免措置があるが、指定管理等を受けた組織が母体の維持と共に活発に企画・運営・発信できる料金形態になっているか。

また、承葉塾の宿泊は町外にも人気がありリピーターがいた。施設の不具合以外にも、費用対効果で課題があれば、用途や利用形態を検討し高齢者だけでなく幅広い世代に活発に活用されたい。今後の方向性は。

池田町長

各施設の利用料は条例の範囲内で指定管理者が徴収できるが、収益を得る仕組みが十分でなく、運営が厳しい施設もある。行政が直接、運営費・光熱水費の支援をするのではなく、地域の公共関連の受託事業で収益を上げ地域活動に活かしてほしい。そのため仕組みづくりの支援・指導をしていく。

承葉塾に関しては、現在、給湯ボイラーの不具合で宿泊できず固定客には迷惑をかけている。改修を行い3月までには従来に戻す予定である。この機会に、これまでの利用者側の状況を踏まえ、今後の活用方法を議論する。利用料金の在り方も来年以降に向けて見直していかなければと考える。

## 問 活発な運営が可能か 答 支援・指導で可能に

## 問 雇用の課題対策は

答 魅力ある職場づくりと無料職業紹介所の拡大を

西元

採用後、数年で他自治体への転職や臨時職員採用への応募が無い等の現状をどう捉えているかその対策は。また、特定非営利活動法人ウブドベを参考に町内の仕事の魅力を発信してはどうか。

池田町長

公務員を目指す津野町出身者が少なく、採用後に出身自治体に帰ることも残念ながら法的に制限できない。職場研修を含め町の魅力を伝え、職員が生きがいを感じる職場環境を作っていく。臨時職員については定年制の見直しも行う。職場の魅力発信の件は、詳しく勉強し判断する。

※NPO法人ウブドベ

医療福祉業界の企画広報力不足によるイメージ低下・人手不足による不安定なサービス・利用者とその家族への理解不足による閉じこもりを解決すべく、音楽×アート×医療福祉を通じてあらゆる人々

の積極的社会参加を推進している団体。医療福祉業界に特化したデザインとイベントにも力を入れており、全国の都道府県や社会福祉協議会、医療福祉系の企業とコラボしてイベント企画やパンフレット、WEBデザインも行っている。

## 問 町PR動画の効果は

答 一定の反響・効果あり

西元

町のPR動画、津野だ！っーの！に対する町民意見は賛否両論だが効果は。また、PR後の対応はどうか。今後は中身を育てるべきでは。

池田町長

2月の公開以降、ホームページのアクセス数が大きく増え、動画を見て訪れた同じ場所での記念撮影をしている方もいるとのこと。全国CM評価サイトの情報では比較的高い評価を得ている。PR後、体験メニュー関係団体とのコミュニケーションが不足していた。今



承葉塾



後は交流人口だけでなく、滞在型の観光を目指す。コースや商品をしっかり作るよう商工会・各団体等と議論を重ね、元氣な津野町に繋げたい。

## 問 避難計画の策定は

答 県の計画に基づいて



川上 智子



伊方原発

## 一般質問

池田町長

30キロ圏内の自治体には策定が義務づけられている。本町としては町独自の計画は策定せず、県の原子力災害避難等実施計画によって対応できると判断している。

川上  
伊方原発の再稼働に対し不安に思う住民が多い。本町において原子力災害の避難計画を策定する考えはあるのか。

川上

雇用の人手確保について何らかの形で手を打たなければならぬ状況にあると考える。8月に開設した無料職業紹介所は事業所への支援にも繋がるのか。

池田町長

移住のための求職者に対し移住促進の観点から設置した。12月からはハローワークとの連携も取り、今後は事業所への手助けにも繋がればと考える。

## 問 事業所への支援か

## 答 移住促進の観点から

※津野町無料職業紹介所

津野町内で仕事をお探しの方や人材を求める事業主がそれぞれ登録しておくことで希望に合った求人・求職情報を紹介します。

〔対象・内容〕

①求職者——津野町の住民及び移住定住を希望する方に対し求人情報の閲覧、紹介、相談を行います。  
②求人者——津野町内で人材を求める事業所・事業主の方に、できるだけ希望にあった求職者を紹介します。



## 問 周知努力を

答 早急に説明していき

川上

町の社会資源を有効活用した支援事業を開始しているが、特に地域で活動する民生委員に説明するなどの周知努力に欠けているのではないか。

今橋健康福祉課長

広報には掲載したが詳しくは説明していない。

池田町長

確かに広報のみで十分な周知とは言い難い。各団体に早急に制度の説明を行っていく。

## 問 高齢者福祉の今後は

答 独自の福祉施策を展開

川上

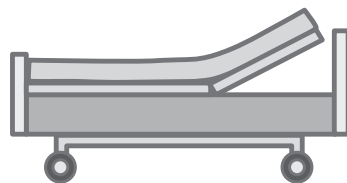
健康で安心な福祉のまちづくりを政策目標に掲げてきたが、今後高齢者福祉について各団体との連携を図り共通認識のもと推進していくのか。

池田町長

課題ごとに解決すべく情報交換を行っていくべきと考える。それに対し指導を徹底し、しっかりとコーディネートしながら独自の福祉施策を展開していきたい。



ショートステイ居室



津野町在宅高齢者生活支援短期宿泊事業

養護老人ホーム高原荘に一時的に宿泊することで生活習慣等の習得や体調維持、心身機能の向上等を図ることを目的とします。

対象者は、おおむね65歳以上で介護認定を受けていない方。例えば、冠婚葬祭などの事情により一時的に

養護を必要とする方や病院退院後、在宅に戻るまでの一時慣らしが必要な方など。

その他の質問  
Q どう考える「在宅みとり」

A 広域的な視点で

Q 在宅介護・地域医療の現状と課題

A 対応するには限界があるのが現状

**問** 総合センターの活用は

**答** 教育委員会が中心に取り組む



中山昭英

一般  
質問

中山

当初の説明と違った物となつたので体育協会では公式競技への取り組みに限度ができた。

交流人口の拡大、経済効果の増大に向けた取り組みは。

川上教育長

スポーツイベントや各種大会、春夏の合宿等を多く計画して、この施設を町民のスポーツ増進や地域の活性化に結びつけていくことで経済効果に繋げていきたい。教育委員会が中心になって取り組む。



総合センター

**問** 総合センターの改修を

**答** 必要なら取り組む

中山

総合センターが完成してから使用上の不具合箇所が分かった。

改修すべきではないか。  
川上教育長

オープンして間もないので、一定期間利用していく中で使用団体から意見を聴くなど一緒に協議をして、改修が必要となれば取り組む。

**問** 子どもの交流の場作りを

**答** 支える必要性を思う

中山

子どもの顔が見えない。東地区の子供会のように地域や地域間で親子・地域が交流する場作りをして、子どもの見守りや思い出作り、地域の和作りをしては。

川上教育長

親と子・子と地域が交流することは、子どもたちを見守り支えるためには大切であり、行政として支えていくシステムの必要性を思うので検討したい。



花火やスポーツを楽しむ子どもたち



**問** 健康パスポートは

**答** 並行して取り組む

中山

県に先駆けて実施している健康マイレージ事業との関係で、県の健康パスポートにどのように取り組むか。体育館の利用やウォーキングマップの活用などでポイントを獲得出来るように対象を拡大すべきでは。

池田町長

健康パスポートの活用は広報等で町民に周知し、特典を受けられる店舗・施設についても十分に検討して登録することもあり得る。町独自の健康マイレージ事業は、商工会の商品券と交換する身近なものである。ので継続し、健康イベントやスポーツ大会等への拡大を検討していく。

## 傍聴記

議会の一般質問を傍聴させて頂くことはほとんどありませんが、たまたま9月定例議会の一般質問を傍聴させて頂きました。傍聴人は私を含め2名で傍聴人があまりにも少なく驚きました。私を含め住民の皆さんも政治に全く関心が無い訳ではないと思いますが、誰しも議場に足を運び議会を傍聴するのはなかなか気が向かないように思います。何が原因なのでしょう。一方、小池東京都知事の就任以来、都民ファースト・開かれた都政・都政大改革など施政方針を発表し、豊洲市場の土壌汚染の問題や東京オリンピック会場予算の問題・都知事給与の減額等都議会やオリンピック委員会等との会談や答弁は押し迫る期限の中で妥協を許さず、問題解決に向けて取り組む姿勢はニュースを見るたびに報道されていますが、私に限らず多くの国民が興味をひかれ視聴しているの

## (わが家のペット紹介)

今回は、竹崎かおりさんの愛はりねずみです。



- ・住所 北川下
- ・名前 くり子
- ・生年月日 平成27年5月 1歳5ヶ月の女の子です。
- ・種類 ヨツユビはりねずみ (ピグミーヘッジホッグ)
- ・飼い主さんから一言 もう少し大人しくしてね
- ・くり子さんの一言 おやつ大好き、もっとください

## 編集後記

今年には台風が北海道や東北に相次いで上陸し、特に10号は農作物が被害を受け野菜の価格の高騰が続いている。この傾向は当分続くとみられる。台風が日本列島近海で発生しているが、これも地球温暖化の為に異常気象ならば先行きが大変心配である。世界中での対策が急がれる。

私の若い頃の高知県は台風銀座と言われ度々やって来て強風や大雨には馴れており県外での洪水を見ても津野町ではあれくらいなら大丈夫とよく聞いたものだ。

11月の台風上陸は随分と前になるが、台風は一年中何処かで発生している。

もしもの時の災害対策の心構えは常に必要と思う今日この頃である。

(文責・西森盛幸)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

ではないでしょうか。津野町議会でも議会開会中の様子や一般質問など多くの住民に関心を持っていただくための議会運営やもつと気軽に視聴しやすい環境づくりを町・町議会・住民を含め今一度検討する機会があっても良いのではないのでしょうか。

芳生野奈路地区

於茂田勇

津野町議会だより発行  
調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	大崎芳章
委員	中越一俊
委員	西森盛幸
委員	田中一孝
委員	松尾信壽

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。